



ご挨拶

関東徳高会会長 豊 正弘

平成22年6月から関東徳高会の会長職を引き継ぐ事になりました昭和41年卒業の豊正弘です。どうぞよろしくお願いたします。

このような大役を受けるには力不足ですが、任期の間微力ながら精一杯務めたく存じますので、お力添えを賜りますようお願いいたします。

さて、このたびの東日本巨大地震と津波、液状化により被害を受けられた皆様、また追い討ちをかけるごとき福島第一原子力発電所の機能不全に伴う強制退避でご苦労されている皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

会員の中にはこの震災の影響を受け、生活が不自由な方が生じたようにも聞き及んでおります。

恒例の新卒業生を迎え、激励してきた伝統ある関東徳高会総会の開催をこのような中、開催するのは如何かと苦慮いたしました。役員の見解を総合いたしまして中止の決断をさせていただきました。

年に一度の総会を楽しみにしていた会員の皆様には大変な落胆かと存じますが、広い関東地区のアクセスや、長引く避難生活者10万人のお気持ちを察しましてご理解を賜りたいと存じます。会則上は年1回の総会開催が必要ですが本会報を持って代替致します。

母校も[かごしま活力ある高校づくり計画]に基づき2006年 徳之島農業高等学校と徳之島高等学校が発展的に統合され、校舎はじめ学習環境は県内でも屈指の環境に整備されたと同いうれしく思っております。

大学や短大への進学率も全国平均を上回る55%程に達し校是の[文武両道の実現]を目指して、生徒達はもとより先生方のご尽力の賜物と推察いたします。

去る2月28日には150名の卒業生全員が徳之島高等学校同窓会に加入され、つつがなく同窓会入会式が執り行われ、つづいて3月1日には卒業式を無事に終え、それぞれの進路に向かって歩みだされたとの報告を受け賜りました。夢を描き目標に換え心身共に強靱な体作りを基本に成就されることを祈るとともに、会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶と致します。

ご挨拶

徳之島高等学校長 上松博造(天城町兼久出身)

本校は「かごしま活力ある高校づくり計画-基本計画-」に基づき、県立徳之島高等学校と県立徳之島農業高等学校が発展的に統合により再編整備され、平成18年4月に開校した新設の高等学校です。

1学年に「普通科」(3学級)と県内3番目で離島では最初の「総合学科」(1年生1学級, 2・3年生2学級)があります。総合学科には、作物・園芸・食品製造などの農業に関する知識や技能を習得する「生物生産系列」、ビジネス・簿記会計・情報処理などに関する知識や技能を習得する「情報ビジネス系列」に加え、家庭や健康・体育等に関する知識や技能を習得したり、地域の衣食住等についても学習する「生活健康科学系列」、音楽・書道・美術等の芸術科目や地域芸能に関する知識や技能を習得したり、地域の歴史や文化、自然等について学習したりする「文化教養系列」を設けてあります。

以上のような特色を持つ新設高校のねらいとして、普通科では習熟度別授業や少人数指導を通して、基礎・基本の徹底により確かな学力を養成し、大学進学等生徒個々の適性に合った進路実現を図ります。また、総合学科では地域の文化・歴史・風土を活かした幅広い体験学習を通して、生徒の視野を広げ、豊かな人間性や社会性を育み、多様な進路実現を図りたいと考えております。

今年3月には第3期生が巣立っていきましたが、国公立大学23名、私立4年制大学43名、その他短大や専門学校に延べ79名が合格し、就職希望の生徒も18名全員が合格しました。平成23年度は、1学年118名、2学年166名、3学年148名、生徒総数432名でスタートしました。

校是の「文武両道の実現」を目指して、生徒達は学業だけでなく部活動にも精一杯励み、進路実現を果たすべく努力しております。今後とも御理解と御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成23年 4月 8日

(徳高ホムページより)

平成 22 年総会報告 H22.6.13 於:五反田ゆうぼうと

平成 22 年度の関東徳高会総会は 103 名の会員が参加し、大変明るい集いを開催することができました。

この度の総会は、旧来からの関東徳高会と徳農高会、新生徳高卒業生を統合した新しい陣容でスタートする記念すべき集いとなりました。旧来の関東徳高会が平成 21 年に、ちょうど区切りを付けるのにふさわしい第 40 回を開催しており、発展的解消と組織の統合を図りパワーみなぎる新生同窓会の誕生を見たことは、小を捨て大局的見解を示した役員の皆様の企画と賛同された会員の見識の賜物です。まさに徳之島を代表する「新組織体」として関東の地で発展をすることを望んでやみません。

関東徳高会の定番である講演は、元関取の一ノ矢関の[腰割で健康になろう]でした。なに事を貫徹するにも腰は要であり、健康あってこそ成就できるものです。全員立ち上がったの腰割実演は役立った様でした。

新執行役員は次の通り決まりました。

[会 長]豊 正弘 [副会長]南 幸静、井口京子
[幹事長]喜多正吉 [副幹事長]遠藤美枝子、宮原たつ子
[代表幹事] 武田光平、田中明仁、秋元英男

安藤京子、小古井和子

[会 計] 豊 正行、川田静子

[監 査] 勝 光重、西 一徳

[各期幹事] 各期幹事は執行役員で選考し委嘱する

平成 22 年度通信費・総会寄付に感謝

関東徳高会の継続的發展に平成 22 年度も多くの方がご芳志を賜りました。謹んで厚くお礼申し上げます。

平成 21 年度、22 年度のご芳志額を報告します。

	平成 21 年度	平成 22 年度
通信賛助金	138,110	152,960
総会寄付金	197,000	193,000
合計	335,110	345,960

表に示しますように毎年高額のご芳志を戴いていることが分かります。崇高な母校愛に感謝感激です！

通信賛助金は総会に諸般の事情があり参加できない会員の方が今年も徳高会を開催します！という案内のご苦勞に対する感謝の気持ちと受け止めております。勿論、関東徳高会の継続と発展並びに母校の繁栄を願うものと理解しています。今後ともご支援お願い致します。

総会寄付金は総会出席の会費出費に重ねてのご芳志でこれもまた感謝です。これらのご芳志と運営のご奉仕のコラボレーションで関東徳高会を發展させましょう。

【会員便り】徳之島 16 年会全国同窓会 11.1~2

標題の同窓会(会長:山岡和則さん)が 50 名の参加者を得て昨年 11 月初旬に東京で開催されました。故郷徳之島での総会から 2 年が経過していました。私たち 16 年会の中には亀津一中・徳高卒の昭和 14~17 年生まれの会員が混在していますが、構成員は昭和 16 年生まれの徳高卒が大勢を占めています。そのことは、さておき、今回の同窓会へは 50 年ぶりに参加する方も現れて文字通り旧交を温め合い、懐古談に花が咲き時が経つのお互いが忘れるほどでありました。古希を控えた皆さんの感慨がそのお気持ちを強めたのでしょうか。ここで特筆すべきことは、今回の同窓会の直前に尼崎のアルカイク文化ホールに置いて関西徳州会創立 60 周年記念大会が開催されて、徳之島、関西方面からの参加者は途次同大会へも参加して上京されました。次回の全国総会の開催地は、関西方面で時期は平成 25 年 11 月下旬を予定しています。

(文責 土岐 邦成)



吉村関西徳高会会長(左)

合同運動会 2011
平成 23 年 5 月 29 日(日) 10 時 30 分より
雨天決行(大型テント増設)その場合はプログラムの変更あり
この運動会は同窓会会員に限らず、広くご家族でも参加できます!
幼児から大人まで、楽しめるプログラムです!

徳之島 3 高校 関西同窓会

だいたいつき
阪神電車 大物駅徒歩 7 分 尼崎市 小田南公園
関西徳州会運動会 2009 年 11 月 1 日(日)
尼崎中小体育公園 フェアスタジアム

関西に役立つ徳之島パワー 輝け、未来につなごう
<http://tokunoshima.jpn.org/3/>



2010/11/01

【母校便り】 母校の近況を覗いて見ましょう

○校歌・校訓・校章 新設さる！

2006年 鹿児島県立徳之島農業高等学校と徳之島高等学校が発展的に統合され、校歌はじめ校訓・校章も新しく設定されている。本号では校訓を紹介します。

【校訓】

敬愛：祖先や親を敬い、師や先輩・知友を慕い、人・動植物・自然を愛し自己を育てた郷土を愛する。

向学：自ら進んで学問を求め、高い教養を習得し、自己実現に向けて勉学に励む。

共生：互いに存在を認め合うとともに、結の心で助け合い、切磋琢磨し、知から強く生きる。

○新しいタイプの高等学校としてスタート！

平成18年4月鹿児島に初めて登場した普通科と総合学科を設置した新しいタイプの高等学校として母校は再構築いたしました。生徒一人一人の個性を伸ばし、多様な進路希望の実現を図り人間性・社会性を育むよう地域と一体となった学校として着実に成果を出しています。OB・OGとして注目ください。

普通科：文系・理系コース別のニーズに対応した受験対策と進路指導で対応

総合学科：専門性を持たせて産業社会人としての人間形成を含め幅広く特徴ある学習で対応

○平成23年3月卒業生の進路状況

平成22年度の卒業生は150名。全員見事進路が確定し、夢の実現に母校を巣立っています。頼もしい後輩たちの頑張りを見ると、我が事のように思うのがOB・OGではないでしょうか。同窓会を活性化させ懐に飛び込んでいただきましょう！

(集計は160名となりますが延べ人数で示しています)

卒業生 150名	進学				就職
	大学		短大	専門 学校等	
学科	国立	私立	—		
普通	23	31	13	31	5
総合	0	12	5	27	13
計	23	43	18	58	18

○平成23年度生徒構成数

学年	1学年	2学年	3学年	合計
人数	118	166	148	432名

○新設徳之島高校に同窓会用メモリアルホール誕生

新設校には徳高・徳農高の思い出の品を展示したメモリアルホールが誕生し役員会などに利用されている。



【ふるさと関連便り】 ふるさとの出来事コーナー

○普天間基地徳之島移転案に15000人反対集会



○OMD-81 ジェット旅客機最後のフライト

ふるさと徳之島は関東からは遙か遠くにあり、帰省の折には多くの人々が利用したジェット旅客機(163席)が平成22年4月1日をもって運行を終えた。現在は1日4便のDHC型機(74席)就航。



○「徳之島フォーラム」H23.1.10

鹿児島大学・環境省・徳之島3町主催で徳之島フォーラムが開催された。「徳之島の未来 世界遺産～島の暮らし・産業環境はどのように変わっていくのか」をテーマに真剣な学習を続けている。琉球諸島のヤンバル地域・奄美大島・徳之島の中央部に残る森林部が候補地となっている。フォーラム資料から人口推移を転記。



調査年度	明治5年	大正9年	昭和30年	平成21年
徳之島	23,000	54,014	50,932	25,473
奄美全島	185,033	210,511	205,363	122,039
日本全国	3481万人	5596万人	9008万人	12751万

○奄美集中豪雨 平成22年10月20日

秋雨前線と台風13号の影響で奄美大島北部を中心に記録的な集中豪雨に見舞われた。住用町では死者が3人発生し、土砂崩れで道路が寸断され集落の孤立や学童が帰宅できず足止め状態となった。徳之島でも土砂崩れが発生し通行制限がしかれた。郷友会ははじめ奄美と合宿で縁のあるスポーツ選手や、「島のブルース」でお馴染みの三沢あけみさんなど多くの方々から義援金が届いた。

○地方統一選で徳高会同胞の朗報:おめでとう！



*四本 博文 氏

古河市市議会議員5期目当選
徳農高 伊仙町阿三出身 昭和43年卒
小中学校教員～議員秘書～古河市議



・高橋 徳美 氏 (旧姓:重岡)

横浜市市議会議員 初当選
徳高 徳之島町亀津出身 昭和62年卒
大成建設～3児の母～横浜市議

キバレ! ご活躍祈ります!

【会務報告】 平成 22 年 6 月～平成 23 年 5 月末

平成 22 年 6 月 13 日に開催された総会以降の主な会務を以下の通り報告いたします。

- H22.6.13 : 平成 22 年度総会 於：五反田ゆうぼうと 103 名参加。同窓会本部川上会長、母校盛副校長参加 [講演]元大相撲一ノ矢関：「腰割で健康になろう」
- H22.7.4 : 関東伊仙町会総会 豊会長出席
- H22.7.7 : 関東徳高会役員会 於：デュロス東五反田 平成 22 年度総会反省会
- H22.7.11 : 関東徳之島町会総会 豊会長出席
- H22.7.31 : 関東徳高会役員会 於：荏原不動産小山店 旧→新 関東徳高会事務引継ぎ
- H22.10.16 : 関東天城町会総会 豊会長出席
- H22.10.16 : 関東徳高会役員会 於：大井町「チムニー」 期ごと幹事委嘱について他
- H22.11.7 : 関東徳州会総会 豊会長出席
- H23.1.15 : 関東徳高会役員会 於：東五反田「庄屋」 会則確認。平成 23 年度総会日時&会場他 役員新年会
- H23.2.15 : 空調アンケート発送 (回答 22/発送数 30) 徳高&PTA からの「同窓会による空調設備 設置要請について元&現役員にアンケート
- H23.2.28 : 空調アンケートの集計と回答 アンケート集計と母校&同窓会本部へ回答
- H23.5.1 : 関東徳高会拡大役員会開催のご案内 (40 部) 空調設置再要請のお知らせとアンケート結果報告 関連する資料や本部役員議事録を同封
- H23.5.21 : 関東徳高会拡大役員会 於：早稲田「清龍」 空調設置要請&周年事業の変遷と関東の決議 新卒生歓迎および総会中止の決定 通信費および東日本震災義援金募集他
- H23.5.24 : 徳高校長歓迎懇談会 於：品川「ゲルツばめ」 上松校長の上京を歓迎し懇談会：役員有志
- H23.6.4 : 平成 23 年度総会 大井町「きゅりあん」中止 東日本大震災の状況から開催を中止とした

【あっぱれ！徳州会青年部・東日本大震災救援】

関東徳州会青年部有志は、このたびの東日本大震災の救援物資として徳之島特産のジャガイモ「春一番」18ト、他を被災地に届けた。有志は震災二日後に支援策を模索したという。何がよいか相当議論したようである。月並みな募金活動の結論にならず、まずは食材をそしてふるさとの特産品を届けること。派生する輸送手段、通行許可、人手、支援金調達等々の先読みは「あっぱれ！」である。「結いの心」で呼応した島人も立派、お礼の号外新聞も心憎い。



東京有明埠頭にジャガイモの積み替えに集った徳州会員 70 余名

【会計報告】 H 22 年 4 月 1 日～H 23 年 3 月 31 日

会則にもとづく会計年度の収支は以下の通りです。

収入 (円)		支出 (円)	
前期繰越金	244,723	総会・懇親費	510,444
総会会費	549,000	懇親会謝礼	83,900
総会寄付金	193,000	役員会議費	186,532
来賓祝儀	70,000	事務・通信費	162,155
通信賛助金	152,960	郷友会祝儀	40,000
本部支援金	50,000	雑費(祝電等)	24,200
役員会余剰金	14,245	(小計)	1,007,231
預金利息他	56	次期繰越金	266,753
収入合計	1,273,984	支出合計	1,273,984

平成 23 年 3 月 31 日

会 長 豊 正弘 印省略

会 計 豊 正行 印省略

監査報告 上記会計報告は関係書類を照合の結果 適正に処理されていることを認めます。

平成 23 年 3 月 31 日

会 計 勝 光重 印省略

【徳高からの空調設置要請事項処置について】

昨年末から徳高の校長及び PTA 会長より空調未設置教室等に同窓会による設置検討要請が同窓会本部にあり、関東、関西、鹿児島同窓会支部に本部から賛同が求められてきている。過去の経緯や予算案などの企画が見えない状態では関東徳高会は賛同ができないと結論付けた。

県が設置責務の室と長期計画で生徒より徴収のお金で普通教室等 35 室には既に設置済であるが会議室、実習室、選択室等 12 室が未設置状態であり、これ等への設置要請である。(他地区は賛成回答済) 予算額 ¥14,570,000—

討議を重ね前向きに結論を導きたい意見もあるが、30 周年記念事業の同窓会館敷地購入資金や 10 周年単位の教育振興基金(現在 2500 万円ほど)募金の趣旨や目的を変えた安易な流用の危険性を見極めたいとしています。

【あとがき】 今後の同窓会運営にご理解とご協力を！

母校ならびに故郷への思いは「皆ひとつ」で活躍されておられると思います。同窓会の案内をしますと相当数宛名不明で戻ってきます。個人情報保護の関係から名簿作成配布ができずに住所録不備が痛感されます。各期の幹事をご推薦ください。特に昭和 55 年以降の卒業の方、男女 1 名をご推薦ください。同期の名簿の確認や消息のお尋ねなど、お手伝いをお願いしたいと思っております。

徳之島を代表する財務も含めた模範的横綱格の組織でありたい思いの徳高会ですが親睦会の域を脱し切れていないことを痛感しています。情報社会で情報の共有化が出来ていないのが原因のひとつと思ひ会報を発行いたしました。各期の活動情報を投稿ください。(文責 喜多)